

(公財)青山音楽財団助成公演

くぼった打楽器四重奏団演奏会

打楽器アンサンブルの変遷

- *Transition of Percussion ensemble* -



Photo: Akira Muto

12.5 2021 開演 15:00
SUN 開場 14:30

青山音楽記念館バロックザール

(阪急電鉄嵐山線 上桂駅から西へ300m)

John Cage, Lou Harrison : Double Music

Andre Jolivet : Suite en Concert pour Flute et Percussion (フルートソロ: 富久田 治彦)

西田尚史 : Box The Compass for cajon quartet

三木稔 : Marimba Spiritual

Claude Debussy : 月の光

公募による新作初演 ほか

料金 : 一般 3,000円 / 学生(大学生以下) 1,500円 (全席自由・当日500円増) ※未就学児の入場は、ご遠慮ください。

チケット・問合せ : 青山音楽記念館 075-393-0011 / 窪田 kubota_perc@yahoo.co.jp

くぼった打楽器四重奏団 Kubotta Percussion Quartet

2003年、東京藝術大学打楽器科有志演奏会での演奏を機に結成。都内や横浜での音楽鑑賞教室の他、セレスホールでの旗揚げ公演は、満席(800名)の聴衆を魅了した。その後も定期的に公演を行い、メンバーで録音した「Marimba Spiritual」はレコード芸術誌上で「気合いとエネルギーの音楽と捉えられがちなこの曲が、驚くほど繊細な音楽として表現されている」と評価された。メンバーそれぞれの活動を還元し、既存の打楽器アンサンブル作品の他、クラシック曲のアレンジや、オリジナル曲の開拓等、打楽器アンサンブルの発展と普及に努めている。



窪田 健志 Takeshi Kubota

大阪府豊中市出身。東京藝術大学卒業後、同大学院修士課程修了。

2002年東京佼成ウインドオーケストラ アジア公演を皮切りに、在学中より様々なオーケストラメンバーとしてシンガポール、チェコ、ドイツなどで演奏。PMF、宮崎国際音楽祭などに参加。日本管打楽器コンクール第2位。芸大フィル、名古屋フィル、愛知室内オケ等と協奏曲を共演。東京オペラシティ主催「B→C」、NHK-FM「リサイタル・ノヴァ」「鍵盤のつばさ」にソリストとして出演。オーケストラを中心に、室内楽、打楽器ソロ・リサイタルを各地で公演を行う他、全日本吹奏楽コンクールの審査員なども務める。名古屋市民芸術祭賞を2度受賞の他、第23回青山音楽賞、令和元年度文化庁芸術祭優秀賞を受賞。昨年6月にCD「Percussion Pieces 1...from JAPAN」をリリース、レコード芸術誌にて特選盤に選ばれた。(公財)名古屋フィルハーモニー交響楽団首席ティンパニ・打楽器奏者。名古屋音楽大学、菊里高校音楽科の非常勤講師。趣味はタップダンスと献血。



相川 瞳 Hitomi Aikawa

東京都練馬区出身。東京藝術大学卒業。

ブルガリアで開催されたプロヴディフ国際打楽器コンクール DUO 部門にて2位入賞。(1位なし)「大友良英 with あまちゃんスペシャルビッグバンド」のメンバーとして、NHK 紅白歌合戦に出場。NHK-FM「リサイタル・ノヴァ」にソリストとして出演。NHK大河「いだてん」音楽参加。2018年よりDr.森山威男のグループにパーカッションリストとして参加。坂東玉三郎、岩城滉一、小野リサ、椎名林檎、渡辺えり等のレコーディング、アーティストサポート、またミュージカル、現代音楽、ライブ等の活動を展開する他、作曲、編曲、ピアノ伴奏なども手がける。ジャンルを問わず、マルチな女性パーカッションリストとして活動中である。



上原 なな江 Nanae Uehara

東京都葛飾区出身。東京藝術大学卒業。

クラシック音楽を中心にオーケストラや吹奏楽、室内楽の客演をはじめ、ミュージカル(劇団四季、東宝など)や劇伴/CM録音にも多数参加している。大友良英が音楽を担当したNHKドラマ「あまちゃん」「いだてん」の録音に参加。あまちゃんスペシャルビッグバンドメンバーとしてNHK紅白歌合戦に出演した。ポップスシーンでは椎名林檎、三浦祐太郎、藤原さくらのCD録音に参加。ブルガリア国際打楽器コンクールにて第3位を受賞。現在、朗読と音楽での表現「言葉と出会う音楽会」に挑戦中。日本の文芸作品を中心に取り上げ行うこの公演では、打楽器演奏の他作曲も担当する。国立音楽院講師、大友良英スペシャルビッグバンド、ズーラシアンプラスメンバー。



秋田 孝訓 Takanori Akita

神奈川県横浜市出身。東京藝術大学卒業。

クラシックパーカッションを始め、ドラムス、ラテンパーカッション奏者としてオーケストラ、室内楽、舞台、ミュージカルなどに数多く出演。劇団四季「サウンド オブ ミュージック」「壁抜男」、宮本亜門氏演出「トゥーランドット」、東宝「道化の瞳」「天翔る風に」、蛭川幸雄演出「間違いの喜劇」「オーシャンズ11」、宝塚歌劇などにパーカッション奏者、ドラマーとして演奏参加。寺田由美パーカッションアンサンブル「ドライブ」メンバー。またJAZZやポップスも精力的に活動中。侍ビッグバンド主宰、ピアニスト故野口茜が率いたラテンビッグバンド「Monaural Banquet Orchestra」メンバー、TAMA CONCERT PERCUSSION SUPPORTING ARTIST、洗足学園音楽大学非常勤講師、東京佼成ウインドオーケストラ打楽器奏者。



特別出演 富久田 治彦 Haruhiko Fukuda

フルートを12歳で始め、川瀬登夫氏、伊藤成一氏に師事する。

京都市立芸術大学を経て、1988年同大学院を修了。修了に際し大学院賞を受賞。在学中に第3回日本フルートコンヴェンションコンクール第1位。NHK洋楽オーディションに合格。1989年名古屋フィルハーモニー交響楽団に入団。その後、第1回日本木管コンクール第2位。1991年にはバロックザールでのリサイタルが評価され、青山音楽賞を受賞。1995年アフィニス文化財団海外研修員に選ばれ、アメリカ合衆国へ留学。ミッシェル・デボスト氏、フェンヴィック・スミス氏らのもとで研鑽を積む。ソリストとして、名古屋フィルハーモニー交響楽団と共にイベル、ライネック、ニールセン、モーツァルト、J.S.バッハ、尾高、武満など協奏曲等を数多く演奏している他、宗次ホール主催「富久田治彦プロデュースによる室内楽シリーズ」やリサイタル、アジア・フルート・コンGRESS、日本フルート・コンヴェンション、および日本各地で開催されるフルート・フェスティバル等で活躍している。2018年には国立台南大学に招聘され、マスタークラスや講演、モーツァルトの協奏曲を演奏した。またアジア・フルート・コンGRESS韓国釜山市ではファイナルコンサートの指揮者を、中国上海市ではマスタークラスを務めた。幅広い活動を国外にも展開している。日本音楽コンクール、日本木管コンクール、全日本吹奏楽コンクール等審査員を歴任。現在、名古屋フィルハーモニー交響楽団首席フルート奏者。京都市立芸術大学大学院および椋山女学園大学大学院非常勤講師。アジア・フルート連盟常任理事・日本本部副部長。